

ED-005

環境経営レポート

2025年度

(2024年12月~2025年11月)



佐竹特殊鋼株式会社

2026年3月1日発行

1. 組織の概要

(1) 事業所の名称及び代表者

佐竹特殊鋼株式会社
代表取締役 佐竹昌史

(2) 所在地

本社
東京都立川市一番町 4-65-32
電話 042-531-8656

営業本部・物流センター・加工センター
東京都武蔵村山市伊奈平 1-28-4
電話 042-531-8681 FAX 042-531-8684

(3) 事業内容

特殊鋼の素材販売・加工販売
非鉄金属、新素材の素材販売・加工販売

(4) 事業規模

創立 1973年3月30日
法人設立 1974年11月30日
資本金 1,200万円
年商 720百万円
従業員 24人 (パート・非常勤も含む)

2. 対象範囲

(1) 認証・登録範囲

特殊鋼の素材販売・加工販売、非鉄金属、新素材の素材販売・加工販売

(2) レポート対象期間

2024年12月～2025年11月

(3) 活動レポート発行日

2026年3月1日発行

3. 環境経営方針

【基本理念】

佐竹特殊鋼株式会社は、素材販売、機械加工を行う会社として環境に配慮した会社をめざし日々努力していきます。

地球環境保全が、最重要課題の一つであると共に、かけがえの無い地球に住む一員であることを認識し、地球環境を考えた事業活動を全員参加で展開することを基本理念とします。

【環境経営方針】

1. SDGsの目標設定

- ゴール5 ジェンダー平等
- ゴール7 エネルギー
- ゴール8 雇用
- ゴール12 持続可能な生産・消費
- ゴール13 気候変動



2. 環境経営目標を設定し、定期的にその効果を評価し、必要に応じて見直しを行うと共に継続的改善に取り組みます。
3. 環境関連の法規制を順守します。
4. クレーム削減を徹底します。
5. 3Sパトロールの実施と振り返り
6. 新人教育マニュアルの作成及び実施
7. 採用戦略の立案
8. 展示会への出展による新規顧客の開拓の推進

この品質環境経営方針は、社内外全ての方に周知をする為に、開示します。

改定 2019年1月11日

制定 2015年2月2日

佐竹特殊鋼株式会社

代表取締役

佐竹 昌史

4. 環境経営目標

項目		基準年度実績	2026年度中期目標	2025年度目標	
1	売上高	2020年度 100 %	2020年度比 e 300 %以上	2020年度比 160 %以上	
2	顧客クレーム削減による環境負荷の低減	2020年度発生件数 5 件		発生件数 3 件以下	
3	社内検査不具合発生削減による環境負荷の低減	2020年度不具合発生 物流センター 5件 加工センター 21件 調達課 0件 外注 0件		不具合発生 物流センター 10件以下 加工センター 15件以下 調達課 0件以下 外注 2件以下	
4	二酸化炭素排出量の削減	排出量	2020年度 d 115.6 t	f (347 t)	(185 t)
		売上高排出量	2020年度 a 115.6 t/100	c 116 t/100	2020年度比 100 % 以下 2020年度比 100 % 以下 116 t/100
5	廃棄物排出量の削減	産業廃棄物	2020年度 1,515 kg	2020年度比 200 % 以下 3,030 kg	2020年度比 200 % 以下 6,700 kg
		一般廃棄物	2020年度 1,465 kg	2020年度比 150 % 以下 2,198 kg	2020年度比 120 % 以下 1,758 kg
6	紙使用量削減	使用量	2020年度 87,081 枚	(391,865 枚)	(181,128 枚)
		売上高使用量	2020年度 87,081 枚/100	130,622 枚/100	2020年度比 150 % 以下 2020年度比 130 % 以下 113,205 枚/100
7	製品の環境性能向上 (RoHS指令への対応)	顧客要求に 100 %対応	顧客要求に 100 %対応	顧客要求に 100 %対応	
8	+O ₂ マングローブ植林プロジェクト				

・電力のCO₂排出係数は、2020年東京電力の調整後排出係数0.441kg-CO₂/kWhを使用。

5. 環境経営計画

(1) 環境負荷削減活動計画

項目		2025年度目標	2025年度活動計画
1	売上高	2020年度比 160%以上	新規開拓30社 20M¥を目標とする
2	顧客クレーム削減による環境負荷の低減	発生件数 3件以下	毎月の会議で是正処置内容を再確認し周知徹底する
3	社内検査不具合発生削減による環境負荷の低減	不具合発生 物流センター 10件以下 加工センター 15件以下 調達課 0件以下 外注 2件以下	DXで加工センターの過去の是正処置内容を図面に添付し、見える化を実施
4	二酸化炭素排出量の削減	排出量 (185 t)	削減目標は売り上げ原単位で同レベル(100%)とする。
		売上高排出量 2020年度比 100%以下 116 t/100	
5	廃棄物排出量の削減	産業廃棄物 2020年度比 200%以下 6,700 kg	新規設備稼働により、廃油が多く出る予定 リサイクル分別の推進
		一般廃棄物 2020年度比 120%以下 1,758 kg	
6	紙使用量の削減	使用量 (181,128 枚)	昨年購入数量63,000枚 ペーパーレスの推進
		売上高使用量 2020年度比 130%以下 113,205 枚/100	
7	製品の環境性能向上 (RoHS指令への対応)	顧客要求に 100%対応	顧客からの要求があった場合 対応する
8	+O ₂ マングローブ植林プロジェクト		

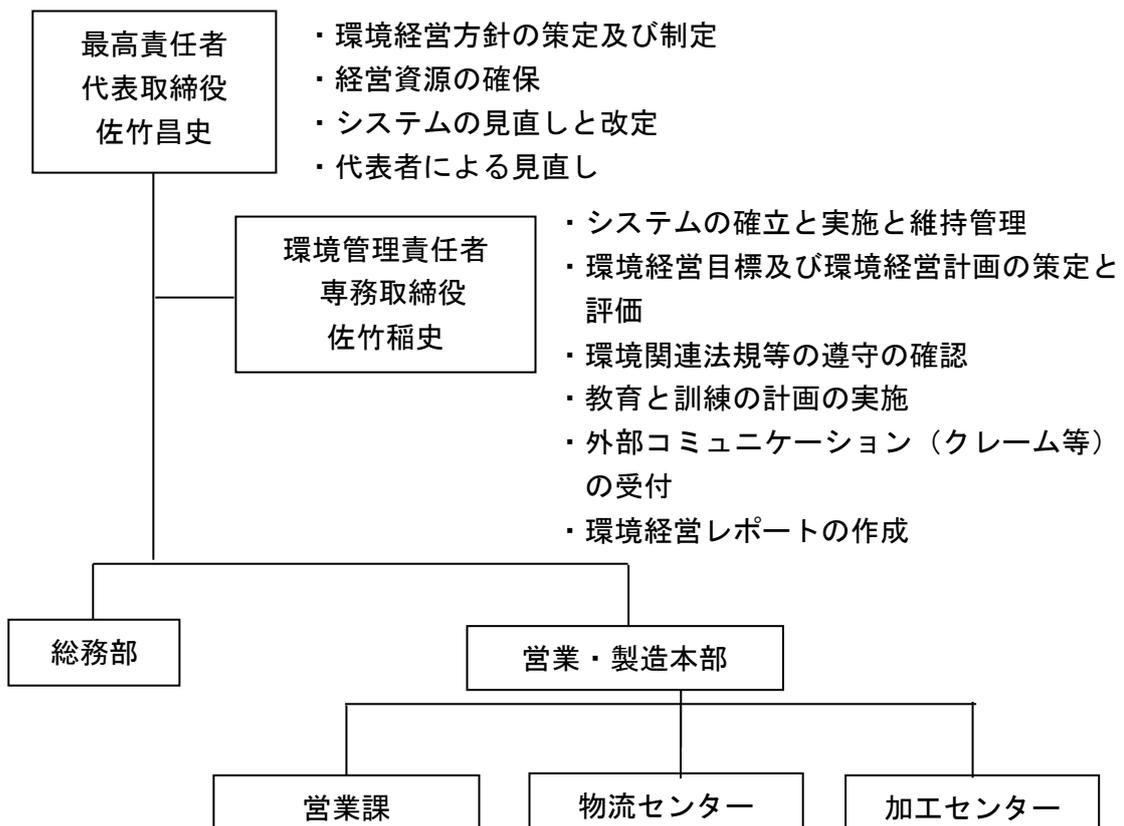
・電力のCO₂排出係数は、2020年東京電力の調整後排出係数0.441kg-CO₂/kWhを使用。

(2) SDGs活動計画

No.	項目	SDGsゴール	2025年度 活動計画
1	ゴール5 	ジェンダー平等 女性が働きやすい職場環境の整備 女性雇用の促進	女性が活躍している場をSNSやYouTube動画を発信 現在 YouTube動画になっていない部署について製作する
2	ゴール7 	エネルギー 省エネ等のエネルギー効率の改善	太陽光発電の設置に関して助成金の助成率を確認しながら、設置の検討を継続する
3	ゴール8 	雇用 雇用拡大と教育訓練の拡充 働きがいのある人間らしい仕事の推進	現在の仕事内容を各部署のYouTube動画を取り直す 事務所のカーペット、机、椅子を新たに新調する
4	ゴール12 	持続可能な生産・消費 品質向上によるムダ、廃棄物の削減	動画マニュアルソフトを導入し、それぞれの課で動画撮影及び編集する事で、現状の仕事内容を把握し改善に役立てる
5	ゴール13 	気候変動 エネルギー消費削減による二酸化炭素排出量の削減	引き続き、デマンドによる最大電力量の低減

6. 環境経営計画に基づき実施した取組内容

● Eco Action 組織図



● 環境経営取組内容

(1) ・環境活動計画の取組結果とその評価

・売上高について

売り上げ160%アップを目標とし、スタートし、目標値に対して3.5%アップで前期を終えた。AI関連の半導体装置の追い風を受けた形となった。

・顧客クレーム削減による環境負荷の低減について

前々期 経験不足から、顧客満足度管理票にかなり厳しいコメントがあったが、前期は品質が上がったことで、評価も大幅に改善された。

・社内検査不具合発生削減による環境負荷の低減について

2025年度の目標を、2024年度実績の物流センター1件 加工センターは5件に対し、目標は物流センター10件以下 加工センター15件以下 外注2件以下で設定し、物流センター0件、加工センター18件で、目標達成しなかったが、物量が大幅に増えたため、不具合も増えたと考えているが、品質環境会議で、情報共有と周知徹底をしていく。

・紙購入量について

前年度対比14.3%アップとなったが、売り上げが17%アップとなり、購入量が売り上げに、比例して増えた。

・産業廃棄物排出量について

2020年度対比200% 3030Kgとしたが、今回初めて大型工作機械の切削油の交換を行った為、大幅に増えた。これを目安に、来期の設定とする。

・二酸化炭素排出量について

2025年度の目標は、売り上げ原単位で2020年度基準年に対して160%と設定した。売り上げが17%アップとなり、二酸化排出量も比例して、111%となった。今後 売り上げ上昇に際し、二酸化排出量が増加するが、電力、軽油、ガソリン、などの数値についても注意深く見ていく。

7. 環境経営目標及び環境経営計画の実績・取組結果とその評価

(1) 環境経営活動計画の取組結果とその評価

項目		2025年度目標	2025年度 実績と評価	
			実績	評価
1	売上高	2020年度比 160 %以上	117 %	AI関連の動きが好調で、メインの会社の売上げが大幅に上昇した
2	顧客クレーム削減による環境負荷の低減	発生件数 3件以下	4件	社歴が浅い社員が多いので、再度会議で徹底する
3	社内検査不具合発生削減による環境負荷の低減	不具合発生 物流センター 10件以下 加工センター 15件以下 調達課 0件以下 外注 2件以下	物流C 0件 加工C 18件 調達 0件 外注 1件	加工センターに新たに入社し、人数は5人になり、生産数も増加した結果、不具合の数が上昇した
4	二酸化炭素排出量の削減	排出量 (185 t)	111.0 % 128.3 t	売上げに比例した数値が出ている
		2020年度比 100 % 以下 116 t/100	111.0 % 128.3 t/100	
5	廃棄物排出量の削減	産業廃棄物 2020年度比 200 % 以下 6,700 kg	374.5 % 5,674 kg	来期以降の目標値を実績の量で目標数値とする リサイクルが進んだ結果、減少した
		一般廃棄物 2020年度比 120 % 以下 1,758 kg	69.3 % 1,015 kg	
6	紙使用量削減	使用量 (181,128 枚)	84.4 % 73,500 枚	売上げ上昇により、紙購入量も増えた
		2020年度比 130 % 以下 113,205 枚/100	84.4 % 73,500 枚/100	
7	製品の環境性能向上 (RoHS指令への対応)	顧客要求に 100 %対応		顧客からの要求に対応済み
8	+O ₂ マングローブ植林プロジェクト			

・電力のCO₂排出係数は、2020年東京電力の調整後排出係数0.441kg-CO₂/kWhを使用。

(2) SDGsの取組実績

No.	項目	SDGsゴール	2025年度 活動計画	2025年度実績
1	ゴール5 	ジェンダー平等 女性が働きやすい職場環境の整備 女性雇用の促進	女性が活躍している場をSNSやYouTube動画を発信 現在 YouTube動画になっていない部署について製作する	まだ、作成ができていない 実施し、ホームページ上で発表済み
2	ゴール7 	エネルギー 省エネ等のエネルギー効率の改善	太陽光発電の設置に関して助成金の助成率を確認しながら、設置の検討を継続する	現在 出来ていないが来期設置予定
3	ゴール8 	雇用 雇用拡大と教育訓練の拡充 働きがいのある人間らしい仕事の推進	現在の仕事内容を各部署のYouTube動画を取り直す 事務所のカーペット、机、椅子を新たに新調する	製作し、ホームページで発表済み 1月に配置含め、変更済み
4	ゴール12 	持続可能な生産・消費 品質向上によるムダ、廃棄物の削減	動画マニュアルソフトを導入し、それぞれの課で動画撮影及び編集する事で、現状の仕事内容を把握し改善に役立てる	動画マニュアルは、コストに見合わないので保留とし、AIを使用したNOTEBOOKLMや、GPTsでマニュアル含め、作成中
5	ゴール13 	気候変動 エネルギー消費削減による二酸化炭素排出量の削減	引き続き、デマンドのよる最大電力量の低減	引き続き、デマンドのよる最大電力量の低減

(3) 次年度の環境経営目標及び環境経営計画

項目		基準年度実績	2026年度中期目標	2026年度目標	2026年度活動計画
1	売上高	2020年度 100 % e	2020年度比 200 %以上	2020年度比 143 %以上	新規開拓30社 20M¥を目標とする
2	顧客クレーム削減による環境負荷の低減	2020年度発生件数 5 件		発生件数 3 件以下	毎月の会議では是正処置内容を再確認し周知徹底する
3	社内検査不具合発生削減による環境負荷の低減	2020年度不具合発生 物流センター 5件 加工センター 21件 調達課 0件 外注 0件		不具合発生 物流センター 10件以下 加工センター 15件以下 調達課 0件以下 外注 2件以下	DXで加工センターの過去の是正処置内容を図面に添付し、視える化を実施
4	二酸化炭素排出量の削減	2020年度 d 115.6 t	f (231 t)	(165 t)	削減目標は売り上げ原単位で同レベル(100%)とする。
	売上高排出量	2020年度 a 115.6 t/100	2020年度比 100 % 以下 c 116 t/100	2020年度比 100 % 以下 116 t/100	
5	産業廃棄物排出量の削減	2020年度 1,515 kg	2020年度比 200 % 以下 3,030 kg	2020年度比 200 % 以下 6,700 kg	新規設備稼働により、廃油が多く出る予定
	一般廃棄物	2020年度 1,465 kg	2020年度比 150 % 以下 2,198 kg	2020年度比 120 % 以下 1,758 kg	リサイクル分別の推進
6	紙使用量削減	2024年度 61,750 枚	(100,000 枚)	(82,000 枚)	2025年 73500枚
	売上高使用量	2020年度 87,081 枚/100	2020年度比 150 % 以下 130,622 枚/100	2020年度比 130 % 以下 113,205 枚/100	ペーパーレスの推進
7	製品の環境性能向上 (RoHS指令への対応)	顧客要求に 100 %対応	顧客要求に 100 %対応	顧客要求に 100 %対応	顧客からの要求があった場合 対応する
8	+O ₂ マングローブ植林プロジェクト				

・電力のCO₂排出係数は、2020年東京電力の調整後排出係数0.441kg-CO₂/kWhを使用。

8. 環境関連法規などの遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、

訴訟などの有無

- 都民の健康と安全を確保する環境に関する条例
- 騒音規制法
- 振動規制法
- フロン排出抑制法
- 廃棄物処理法
- 労働安全衛生法
- 消防法
- 都民と健康と安全を確保する環境に関する条例

上記法規等について、2022年12月に遵守状況の評価を実施し、特に問題のないことを確認しました。また、外部関係者からの苦情及び訴訟等は発生していません。

9. 代表者による全体の評価と見直し・指示

2025年度の目的目標達成状況については、1月に確認した。2025年度の電力、ガソリン、軽油、紙の購入量については、工作機械の稼働率上昇を数値目標の設定をする事。

産業廃棄物に関しては、加工センターで大型工作機械のフラッシングをし、タンク等の洗浄を実施、効果が出ていた。来期実施するかは、会議で確認し決めるものとする。

加工センターの更なる生産量アップも含め、数値目標を立てる事。

SDGzの目標に対して、今期、具体的な施策を打ち出しているのので、周知徹底及び、全員で目標達成の事。

(2026. 1月20日)

・次期環境経営レポートは、2027年3月発行予定。